

附属札幌中学校「学校だより」

藤 房

北海道教育大学
附属札幌中学校

令和2年 12月1日発行

No.8

去る10月31日(土)藤華祭が開催され、成功裏に幕を閉じました。コロナ禍の影響で例年とは異なる形での実施を余儀なくされましたが、生徒・保護者・教職員が一丸となり、素晴らしい藤華祭を創り上げることができました。ここでは、生徒会担当者と藤華祭実行委員長の言葉を紹介いたします。

『今は同じ空間にいることはできないけれど、 私たちは同じ思いでこの学び舎にいる』

生徒会担当 柏 敬太

今年は「藤華祭を行うこと」が意味するものは、これまでとは大きく違っていました。実施する以上、全校生徒が安全に、そして安心して参加できる藤華祭にしなければいけません。間隔を保った会場にするにはどうしたらよいか、できる限りみんなが生でステージや展示、教室発表を見るためにはどうしたらよいか、例年と異なるタイムテーブルでも一日を通して楽しめるものにするにはどうしたらよいか。藤華祭特別委員の生徒たちは藤華祭が行われる3ヶ月以上前からいくつもの案を考え、教員を交えながら話し合いを行ってきました。

9月から始まったプロジェクト活動。その藤華委の思いに応えるように、全てのプロジェクトが、制約のある環境の中で皆を楽しませる藤華祭にするにはどうすればよいかを時間をかけて悩みながらも考え、形にしていきました。距離が離れていることを設定に取り込み、オリジナルのストーリーをつくったステージ、例年よりも多くの教室を使用し、昼食場所を華やかに彩った装飾、輪投げや紙飛行機、射的など距離をとることを前提とした教室発表やD組の発表など、随所に工夫が見られました。

そしてそのような創り手の姿勢に応えるように、参加する側も、声をあげずに盛り上げるために、足踏みを揃えたり、温かな拍手を送ったりするなど、今自分たちができる精一杯で藤華祭を盛り上げていました。今年の藤華祭のテーマは「宙(そら)」。「今までにない状況だからこそ、宇宙のように、伝統に縛られずに活動を行っていく」という、テーマに込められた意味を、全員が形にしてくれた藤華祭となりました。

『今は同じ空間にいることはできないけれど、私たちは同じ思いでこの学び舎にいる』

エンディングで流れたこの言葉に、今年の藤華祭の全てが集約されていたと感じています。例年以上に心のつながりを感じられた、そんな藤華祭となりました。

最後になりますが、バザーや昼食のご準備をはじめ、保護者の皆様のご理解、ご協力があったからこそ、今年の藤華祭を実現することができました。心から感謝申し上げます。



「宙」に込めて

藤華祭実行委員長 郡司 さやか

誰もが全く想像したことのない、コロナ禍の世界。他の学校の多くが学校祭の開催を断念している中、先生方のお力により、我が附属中学校は藤華祭を盛大に行うことができました。先生方、そして、バザーの準備をしてくださった保護者の方々、並びに Youtube でご覧くださった保護者の方々、ありがとうございました。何かを成し遂げられた嬉しさはもちろんですが、藤華祭を開催することができたことが何より嬉しくて、今でも心が震えます。本当にありがとうございました。

今年度の藤華祭テーマは「宙」。よき伝統を引き継ぎつつ、「宙」のように限りない豊富なアイデアを集結させ、より素晴らしく、より新鋭な学校祭を創り上げよう、という附中生の思いが凝縮された一字でした。これまでとは違った環境下でのPJ活動となり、思い通りにいかないことがたくさんありました。しかし、このような状況であったからこそ「コロナなんかには負けない!絶対に藤華祭を成功させる!今までなら考えもしなかったすごいことをやる!」という思いで頑張ってきました。3年生だけではなく、1・2年生も多くの意見をあげており、一人一人が積極的に参加していました。

藤華委が「大きな声を出さずに盛り上がりましょう」と言ってしまうくらい元気に始まったオープニングプロジェクトやステージABCプロジェクトはどれもストーリー性があり、また爆笑の場面もありと独自性が豊かで、すごく面白く感慨深いものでした。体育館装飾・昼食場所装飾・玄関一階装飾、教室発表の各プロジェクト、D組の展示・ゲームは、それぞれ違った雰囲気味わうことができ、その場に足を踏み入れた瞬間に「もっと見ていたい」「もっとやりたい」と思わせるものばかりでした。そして、全プロジェクトのバトンを引き継いだエンディングプロジェクトによって藤華祭は最高の形で幕を閉じたのです。

私達3年生にとって、中学校生活における最大にして最後の全校行事だった第9回藤華祭。PJ活動の限られた時間だけでなく、教室や学校外でも、もっと良くするにはどうしたら良いか、どうすれば思いを伝えられるかなど、同じプロジェクトの仲間、時には違うプロジェクトの仲間とも話し合いを重ね、相談しながら一步一步進めてきました。私は、そういう附属中学校の仲間の一員であることが誇らしく、彼らと過ごしたかけがえのない時間を一生忘れることはありません。

先輩や後輩、友達…みんなで支えあって作り上げたこの経験は、これからの未知なるものへの道標となるのだと思います。目の前の困難から目を背けず、仲間と知恵を出し合い、仲間を信じて助け合い、限りない「宙」のように新たな発想で進んでいきましょう。



■公開授業研究会は動画配信で実施します

前号でお伝えしました公開授業研究会は、新型コロナウイルス感染症拡大状況を鑑み、一般参会者の参観は取りやめ、動画配信で実施することにいたしました。すでにこれまでに7教科の授業が終わり、残りの教科も今週中に実施します。本校の研究の成果を体現している生徒の姿を直接お見せすることができず誠に残念ではございますが、動画や資料などで伝わるよう、工夫を凝らして発信していきたいと考えております。保護者の皆様におかれましても、本校の研究にご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。



■北海道中央バス窓口営業時間の変更について

北海道中央バスより窓口営業時間の変更について連絡がありましたので、お伝えいたします。

○対象窓口 札幌北営業所(011-751-2637)

石狩営業所(0133-74-2325)

○変更内容

		平日	土曜	日祝
札幌北営業所	変更前	9:30~17:00	9:30~17:00	9:30~16:30
	変更後	<u>13:00~16:30</u>	9:30~ <u>16:30</u>	変更なし
石狩営業所	変更前	9:30~18:00		
	変更後	9:30~ <u>17:00</u>		

■新型コロナウイルス感染症対策のお願い

新型コロナウイルス感染症が拡大し、札幌市の児童・生徒の感染も多く報道されております。本校では、HPに掲載しております「附属札幌中学校における教育活動のガイドライン」に基づいて、教育活動を推進しております。つきましては、ご家庭におかれましても以下の対策を徹底していただきますよう、改めてお願い申し上げます。

感染防止の3つの基本:①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗い

- ・人との間隔は、できるだけ2m(最低1m)空ける。
- ・会話をする際は、可能な限り真正面を避ける。
- ・屋内にいるときや会話をするときは、症状がなくてもマスクを着用する。
- ・家に帰ったらまず手や顔を洗う。できるだけすぐ着替える、シャワーを浴びる。
- ・手洗いは30秒程度かけて水と石けんで丁寧に洗う。(手指消毒薬の使用も可)

※本人または同居する家族がPCR検査を受検した場合は、速やかに学校にお知らせください。

12月の行事予定

日(曜日)	行事等の予定	下校バス時刻(予定)
1(火)	公開授業研(数学)午前 2年リサーチタイム第2(2A) 3年進路懇談②	16:20
2(水)	2年リサーチタイム第2(2B) 3年進路懇談③	16:20
3(木)	公開授業研(技・家)午前 2年リサーチタイム第2(2C) 3年進路懇談④	16:20
4(金)	延長帰り学活(QU検査)	16:20
5(土)	部活動不可	
6(日)	部活動不可	
7(月)	委員会・専門局会	16:20
8(火)	スポーツフェスティバル(3年)	16:20
9(水)	スポーツフェスティバル(2年)	16:20
10(木)	スポーツフェスティバル(1年)	16:20
11(金)	入学者選考会場準備	[1・3年]麻)13:10 栄)13:10 [2年]麻)15:00 栄)15:00
12(土)	入学者選考1日目 部活動不可	
13(日)	入学者選考2日目 部活動不可	
14(月)	入学者選考に関わる休業日 部活動不可	
15(火)	入学者選考に関わる休業日 部活動不可	
16(水)	【研究日】	16:20
17(木)	【職員会議】 学校評議員会 歯科検診(全学年)	16:20
18(金)		16:20
19(土)	入学者選考予備日 部活動不可	
20(日)	入学者選考予備日 部活動不可	
21(月)	オンライン授業参観(A組)	16:20
22(火)	オンライン授業参観(B組)	16:20
23(水)	【研究日】 オンライン授業参観(C組)	16:20
24(木)		16:20
25(金)	冬季休業前集会 3年学年末試験範囲発表	16:00
26(土)	冬季休業日(~1/14)	
27(日)		
28(月)		
29(火)	学校閉庁日(~1/3)	